

令和3年度 須坂東高校入学式式辞

観測史上最も早く、ここ須坂の地にも満開の桜が色を染める、喜びの季節がやってきました。1年以上に及ぶ目に見えないウイルスとの闘いでかなり疲弊した状況ではありますが、そんな中でも芽吹きのような勢いを持った皆さんを迎え、穏やかに入学式を挙行できますことを、大変嬉しく思います。

只今入学を許可いたしました 112名の皆さん、ご入学おめでとうございます。教職員一同、皆さんの入学を心より歓迎いたします。保護者の皆様、本日はお子様のご入学、誠におめでとうございます。中学から高校へと、また一回り成長されたお子様の姿に感慨ひとしおのこととお喜び申し上げます。義務教育の過程を修了し、自分の意志で初めて進むべき道を選択した皆さんですが、本校では高校3年間の時間を、生徒達が有意義な学びと夢への挑戦ができるよう、自立の道のりをしっかり支援する教育活動に取り組んでまいりたいと考えます。変化の多い情勢の中、戸惑うことも多々あるかと思われませんが、保護者の皆様のご理解とご協力を賜りながら、生徒支援をしていきたいと思っておりますのでどうぞよろしく願いいたします。

須坂東高校は大正7年創立の長野県町立須坂実科高等女学校を前身とし、平成30年に創立100年を迎えた伝統ある学校です。須坂市の文教地区の一角に位置し、緑豊かな落ち着いた環境が生徒たちを見守り、活気あふれる活動の歴史を刻んできた学校であります。卒業生の皆さまは須坂地区はじめ県内外でご活躍されており、後輩たちの活動にもご理解と愛情をもってご支援いただいております。新入生の皆さんにもぜひ、本校での学びが、夢の実現への一歩となるよう、充実した高校生活を送って欲しいと願うところです。

令和3年度は国のGIGAスクール構想に基づき、長野県教育委員会はICT活用を柱とした教育改革を目指しています。本校では、まずは、学びの基本である学習習慣を定着させることを第一に、何をもって正解とするか判断の難しい世の中にあっても、学んだ経験を自分ごととして捉えられる人間づくりを目指します。また、ICTを活用し、探究的で協働的な活動を学びに取り入れながら、自分のことばで未来を語り、発信できる教育をすすめたいと考えています。世の中のさまざまな情報は、尾ひれをつけてあらゆる変形を見せながら形をかえて伝言ゲームのように第三者へ伝わるのがよくある状況です。あふれた情報のなかから真実を見抜き精査し、ICT機器の能力を自分の力と過信せず上手に付き合い、その中で自分がどう行動しどんな人間として社会に貢献したいのか、これからの時代を生きる術を、教育に反映していきたいと考えます。

皆さんがこれから挑んでいく学習、部活動、生徒会活動など、たくさんの活動の中に、他と協働して答えをみつけていく、そんな経験が待っています。これからの多様性の時代にあっては、他を認め合いながら、大人になっていく過程で自分の生き方を学びます。社会からつきつけられる「問い」に向き合いあいながら、仲間とともに問題解決に向けての力をつけていくことを期待し、本校での学びを通して、問いと向き合った結果、皆さんにとって夢の実現のための進路選択につながるよう、職員一同、心から応援したいと思います。

本日、高校生としてスタート地点に立った新入生の皆さんが、しばらく続くであろう、コロナ禍においても、高校生としての自分の生き方を見つけ、まだ何者でもない皆さんが、夢を持って、力強く未来を切り拓いていってくれることを切に願い、入学式の式辞といたします。

令和3年4月6日

長野県須坂東高等学校長 鳥谷越 浩子